



ワイヤレス人感センサー2個セットDX

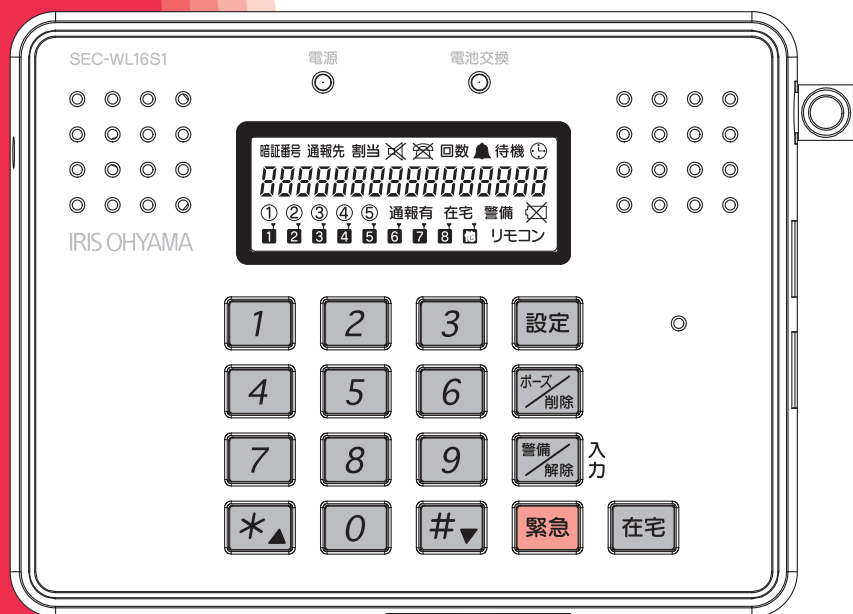
SEC2P4R

ワイヤレス人感・マグネット振動MIXセットDX

SEC3M2P4R・SEC1M1P1R

取扱説明書

3点共通



このたびはお買い上げいただき
まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、
正しくお使いください。
**ご使用前に「安全上のご注意」を
必ずお読みください。**

本機の特長

- ワイヤレスなので本体との配線工事がなく設置が簡単です!
- ダイヤルUP本体とセンサーの通信距離は見通し約60mです!
- センサーが異常を感知しダイヤルUP本体から大音量アラーム90dB!
- 通報先を5箇所まで設定できます!
- 繰り返し通報は5回まで設定できます!(通報未受信防止機能)
- 警備モードの設定、解除はリモコンキーで楽々操作!携帯電話からも遠隔操作!
- センサーは最大16個まで、リモコンキーは最大8個まで追加することができます!
- 停電時でも安心、非常用電源内蔵!(電池は別売になります)
- 電池交換をランプでお知らせ!(リモコンキーを除く)
- 在宅モードで簡易警備!(感知センサー選択機能付)
- 携帯電話から自宅の状況確認(自宅音モニター)、自宅への話しかけ(威嚇発声)ができます。

もくじ

ご使用前にお読みください	2	操作	21
ご使用前の確認とお願い	2	外部からの操作	21
使用上の注意	3	外部からの警備モードの設定	21
警告・注意	3	外部からの警備モードの解除	21
セット内容	4	外部からの自宅音モニター	22
各部の名称	5	外部入力・出力	22
ご使用前の準備	6	操作	23
ダイヤルUP本体 (SEC-WL16S1) の準備	6	本機から警備異常通報がかかってきたら	23
取り付け方	7	自宅音モニター	23
ワイヤレス人感センサーの設置	7	威嚇発声	24
ネジでの取り付け	8	通報停止	24
両面テープでの取り付け	8	警備モードの解除	24
ワイヤレスマグネット振動センサーの設置	9	動作の確認	25
設定方法	11	おでかけやお休み前の設定	25
プログラムの設定	11	「通報先」に設定した電話番号への通報を確認	25
設定する項目	11	人感センサーの感知範囲をチャイムモードで確認	25
設定を始める前に	12	電池の交換時期	25
すぐに使いたいときは	12	通報記録の確認	26
暗証番号の設定・変更	13	「通報先」に設定した電話番号の確認	26
緊急通報先の設定・変更	14	アラーム・リモコンキーの動作確認	26
割当の設定・変更	14・15	センサーの動作確認	26
警報アラームON/OFFの設定	16	お手入れ	26
通報ON/OFFの設定	16	仕様	27
通報回数の設定	17	別売品	28
外部コントロール時の呼び出し回数の設定	17	故障かな？と思ったら	29
通報待機時間の設定	18	ダイヤルUP本体	29
時計の設定	18	ワイヤレス人感センサー	30
モードの設定	19	ワイヤレスマグネット振動センサー	30
警備モードの設定・解除	19	ワイヤレスリモコンキー	30
在宅モードの設定・解除	20		
センサー感知のON/OFFを設定する	20		
緊急時にアラームを鳴らす	20		

ご使用前にお読みください



ご使用前の確認とお願い

- 本機は、電話回線に直接接続もしくは電話機と中継器との間に接続して使用する装置です。交換機を経由する用途では使用できません。
- 使用する電話回線はプッシュ回線以外のご使用できません。ダイヤル回線をご使用の場合はプッシュ回線への契約変更によりご利用できます。
- 使用には別売乾電池が必要になりますので、仕様をご確認のうえご購入ください。
- 付属されている電池はテスト用です。お早めに新品の電池と交換してください。
- ダイヤルUP本体とセンサー、リモコンキー間の電波到達距離は、ご使用になる家の環境によって異なります。途中で妨害電波、金属のドア、コンクリートの壁などがある場合や、2階建ての場合は、電波が届きにくいことがあります。その場合は、原因となる妨害電波をとめるか、ダイヤルUP本体もしくはセンサーの位置を移動してご利用ください。
- マグネット振動センサーを金属アミ入りガラスや特殊金属被膜コーティングした省エネペアガラスなどの窓に設置した場合、電波の届く範囲が短くなる場合がありますので、別売の「外部入力マグネット」をご購入ください。
- ガラス面とサッシ面との距離が9mm以下の場合、片面の窓しか感知できない場合がありますので、ご購入前に設置する窓をご確認ください。
- 本機は侵入者を威嚇し、侵入者の存在をお知らせするもので、盗難や事件の防止を保証するものではありません。
- お出かけやお休み前のご使用時には必ず動作確認をしてください。(P25.26参照)
- 電波の届く範囲は、使用場所の環境や建物の構造、置き場所により短くなる場合があります。
 - 送信機と受信機を金属製の机、ステンレスの流しなどの金属の上に置いた場合。
 - 送信機(センサー)を金属アミ入りガラスや特殊金属被膜をコーティングした省エネペアガラスなどの窓ガラスに設置した場合。
 - 送信機と受信機の上に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある場合やアルミ箔を貼った断熱材を使用している場合。
 - 周辺が金属物でかこまれるような場所(スチールキャビネットの間など)に置いた場合。
- 蛍光灯、モーター製品、テレビ、パソコンなどの近くで使用しないでください。本機の送信、受信状態が悪くなるおそれがあります。
- 落としたり強い衝撃を与えないでください。
- 長時間、直射日光を当てたり(夏の閉め切った自動車内など)暖房器具の近くに置かないでください。故障や異常動作の原因になります。
- 電池の液漏れを防ぐため必ず下記事項をお守りください。
 - ①電池の使用表示に従って正しくご使用ください。
 - ②定期的に点検(動作の確認、液漏れの有無の確認)をしてください。
 - ③長期間、使用しない場合は電池を取り除き、乾燥した涼しい場所で保管してください。
 - ④ボタン電池を使用しているものに関しては、子供が飲み込まないように注意してください。
 - ⑤新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。
- 通報先の設定に対する注意
 - 緊急通報先として設定する通報先に110番(警察)を設定しないでください。また、必ず通報先の手続きを得てから電話番号を設定してください。
- PHSや携帯電話の受信状態が悪い所では、通報を受けにくくなる場合がありますので、ご注意ください。
- 本機を設置すると、ご使用中の電話機の留守番電話機能などが使用できなくなる場合がありますので、設置後、各機能の動作確認をしてください。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。

使用上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に、この「使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

警告



禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。感電やけがをすることがあります。



水場での
使用禁止

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、湿気の多い所や雨のかかる所には置かないでください。ショート・感電のおそれがあります。



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はしないでください。発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

注意



強制

水平で安定した場所に置いてください。ぐらついた台や傾いた台に置くと、落下によるけがや家財に損傷を与える原因となります。



禁止

電源は専用のACアダプターを必ず使用し、交流100V以外で使用しないでください。火災の原因になります。



強制

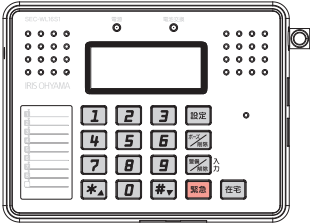
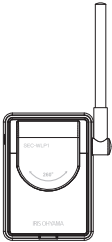
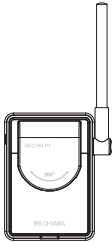
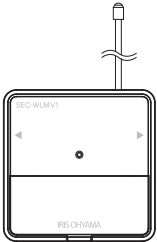
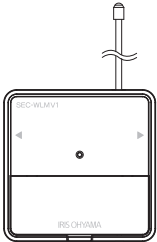
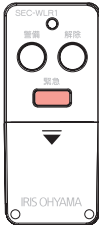
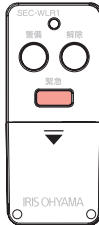
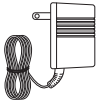
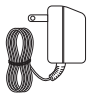
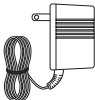
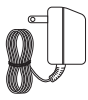
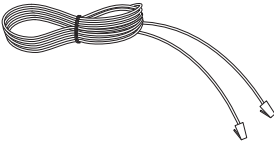
電源プラグを抜く時は、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電・発火の原因になります。



禁止

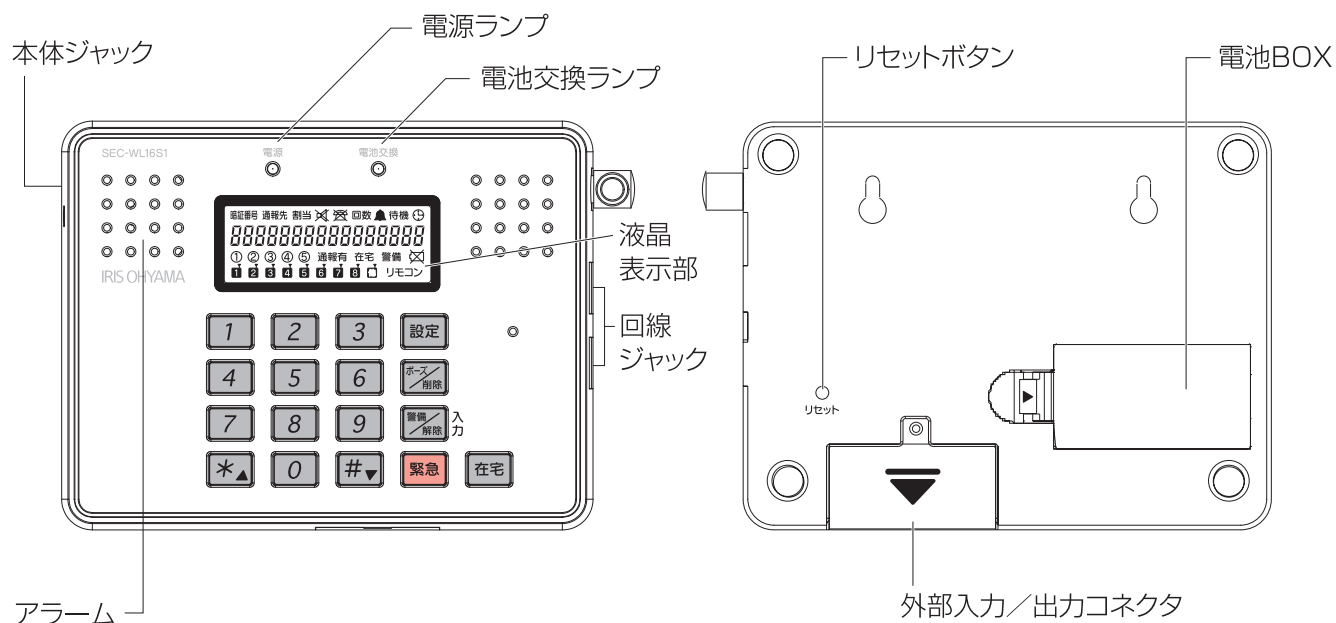
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

セット内容

商品名	ワイヤレス 人感センサー2個セットDX		ワイヤレス人感・マグネット 振動MIXセットDX	
品 番	SEC2P4R		SEC3M2P4R	SEC1M1P1R
ダイヤルUP本体 SEC-WL16S1	 ×1			
ワイヤレス 人感センサー SEC-WLP1	 ×2		 ×1	
ワイヤレス マグネット振動センサー SEC-WLMV1	 ×3		 ×1	
ワイヤレス リモコンキー SEC-WLR1	 ×4		 ×1	
ACアダプター (コード1.8m)	ダイヤルUP本体用 DC9V 500mA  ×1	ワイヤレス人感 センサー用 DC9V 100mA  ×2	ダイヤルUP本体用 DC9V 500mA  ×1	ワイヤレス人感 センサー用 DC9V 100mA  ×1
モジュラーコード×2m	 ×1			
その他	電池CR2032×4 (テスト用) 人感センサー取付用両面テープ×2 人感センサー取付用ネジ×4 システム設置シール×2 取扱説明書 (本書)		電池CR2032×7 (テスト用) 人感センサー取付用両面テープ×2 人感センサー取付用ネジ×4 システム設置シール×2 取扱説明書 (本書)	

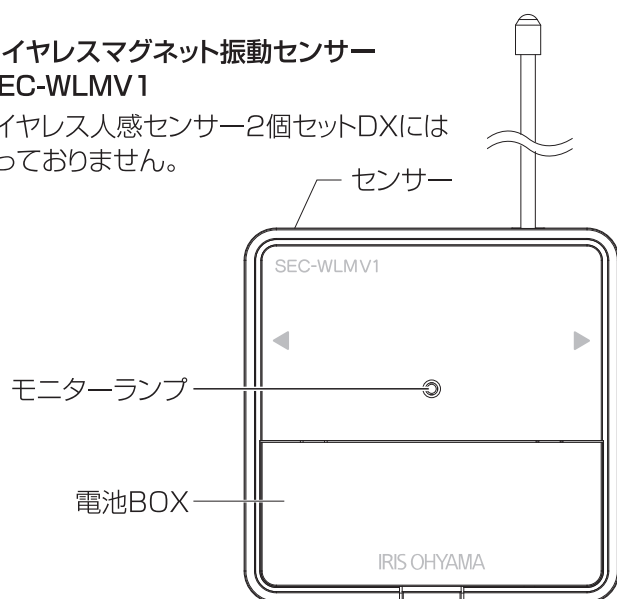
各部の名称

■ ダイヤルUP本体 SEC-WL16S1



■ ワイヤレスマグネット振動センサー SEC-WLMV1

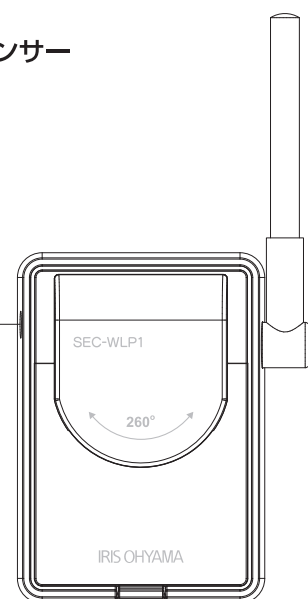
※ワイヤレス人感センサー2個セットDXには入っておりません。



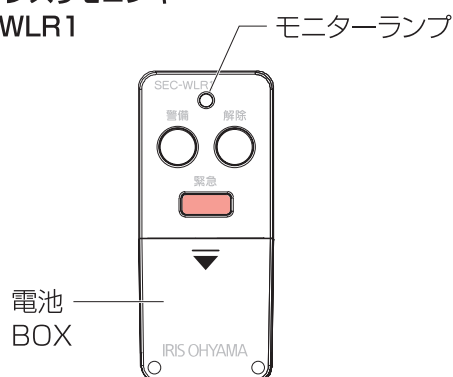
■ ワイヤレス人感センサー SEC-WLP1

マグネット

ACアダプター
差込口

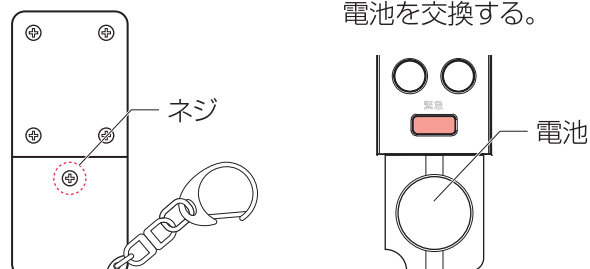


■ ワイヤレスリモコンキー SEC-WLR1



ワイヤレスリモコンキー 電池交換方法

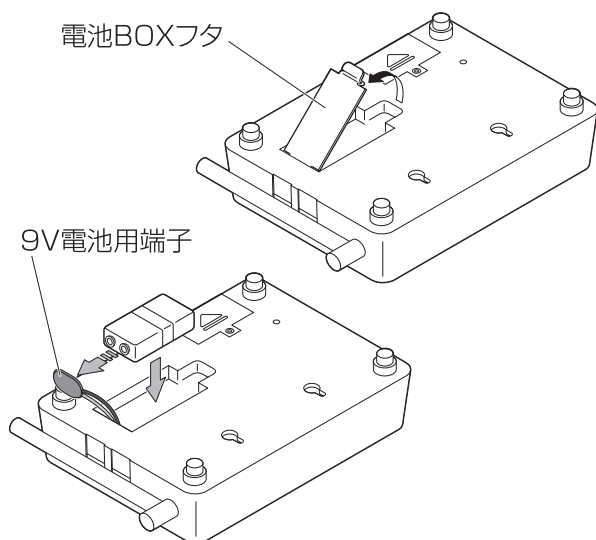
1. 本体裏のネジをはずす。
2. カバーをはずして電池を交換する。



ご使用前の準備

ダイヤルUP本体SEC-WL16S1の準備

●本体に電池を入れる

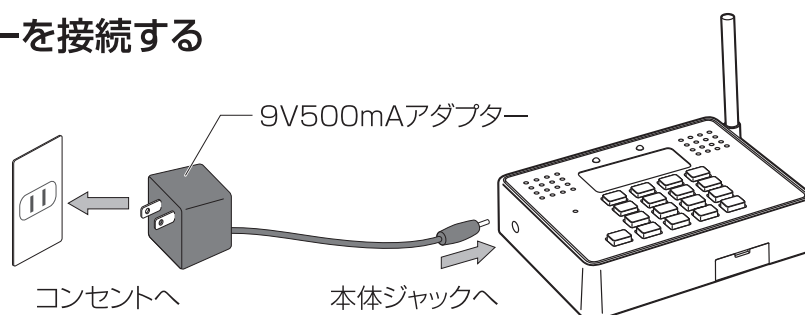


1. 電池BOXフタをはずします。
2. 9V電池 (別売) を $\oplus\ominus$ を間違えないように端子と接続し、電池BOXに戻します。

※この電池は万一停電になっても本体が作動するためのものです。電池が入っていないときに停電になった場合、設定したプログラムは記憶されていますが、日時はリセットされます。

3. 電池BOXフタを閉じます。

●ACアダプターを接続する



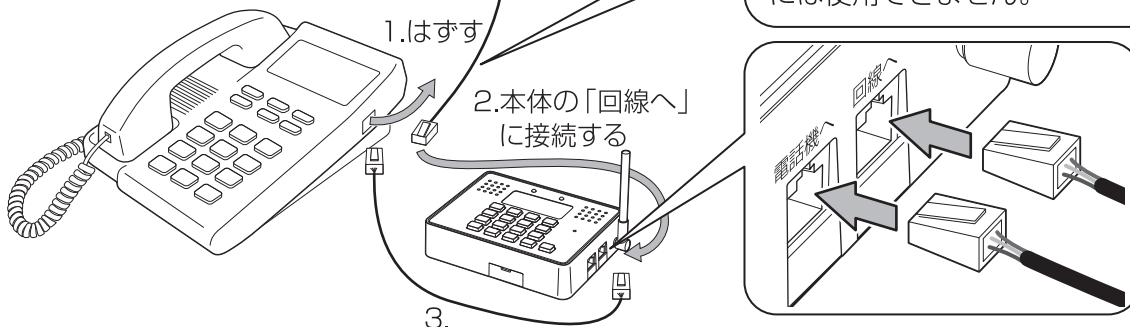
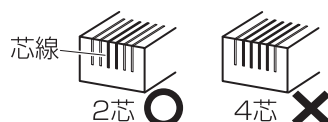
●回線を接続する ※お使いの電話機と、いままでの接続先の間に設置します。

1. 現在お使いの電話機の回線コネクタをはずします。
2. はずしたコネクタを本体の回線ジャック「回線へ」に接続します。
3. 付属のモジュラーコードで本体の回線ジャック「電話機へ」と電話機の回線ジャックを接続します。

壁のモジュラージャック、モデム、ADSLスプリッター等のTEL、電話回線側

回線コネクタの芯線の数を確認してください。

使用できるのは2芯のものです。4芯や6芯には使用できません。



取り付け方

ワイレス人感センサーの設置

●ワイレス人感センサー取り付け前の確認

人感センサーは、熱をもつ物体の移動の有無を感知するものです。
ペットや、エアコン・ストーブなどの熱を発する電気製品が、センサーの感知範囲内に入らないように設置してください。

●ワイレス人感センサーの準備

本体に非常用電池を入れる。(別売単4アルカリ乾電池×4)

1.電池フタをはずします。

(はずしにくい場合はコインなどを使用してください。)

2.単4電池(別売)を $\oplus\ominus$ を注意しながら入れます。

3.電池フタを閉めます。

4.ACアダプターを差し込みます。

センサー設置後、本体のジャックにACアダプターのプラグを差し込み、コンセントにACアダプターを差し込みます。

※環境により電池寿命が著しく短くなる場合がありますので、必ずACアダプターをご使用ください。

※ACアダプターの重さが本体ジャックにかからないよう注意してください。

※ACアダプターを使用する場合でも必ず電池を入れて使用してください。
停電した場合、動作しなくなります。

●ワイレス人感センサーの感知範囲と設置場所の注意

○感知範囲(センサー頭部に対して)

水平方向：100°

垂直方向：中心より下方向30°

(頭部回転により相対的に変わります。)

○感知距離：8m

(推奨設置高さに設置した場合)

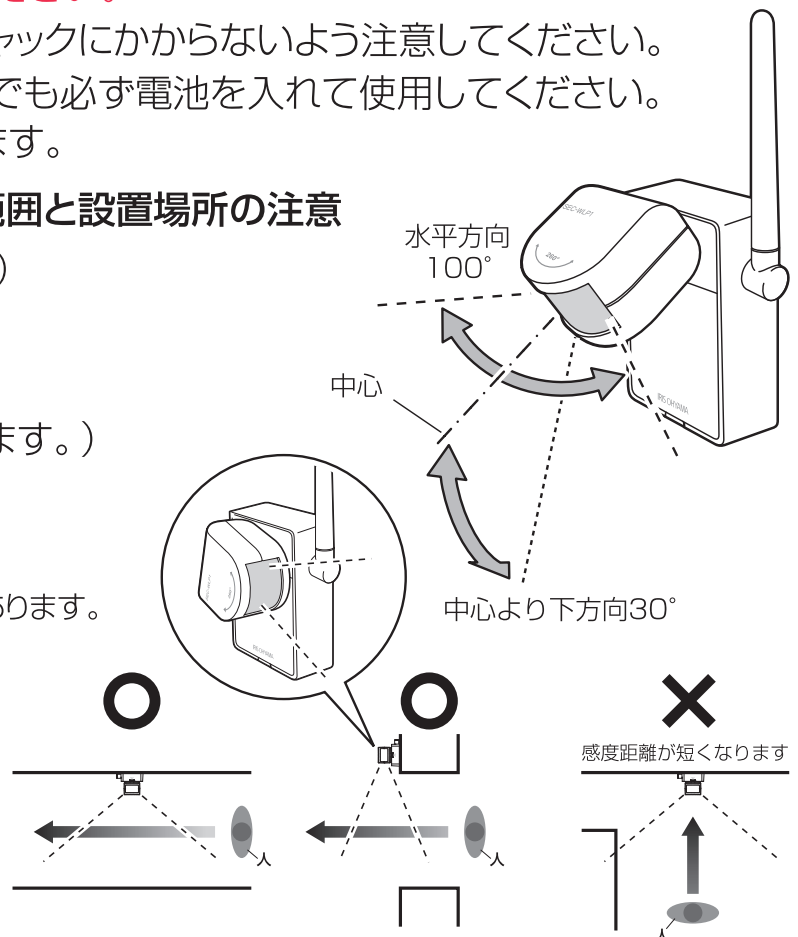
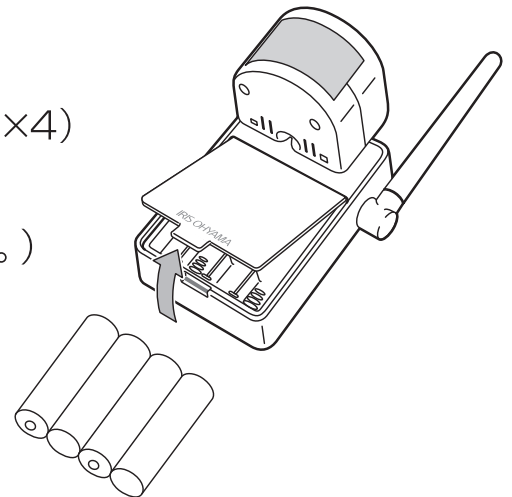
※環境に応じて距離が短くなる場合があります。

○設置場所：壁

○設置高さ：1.5～2.0m

○設置方法の注意：

センサー感知範囲に対して
人が横切るように設置します。

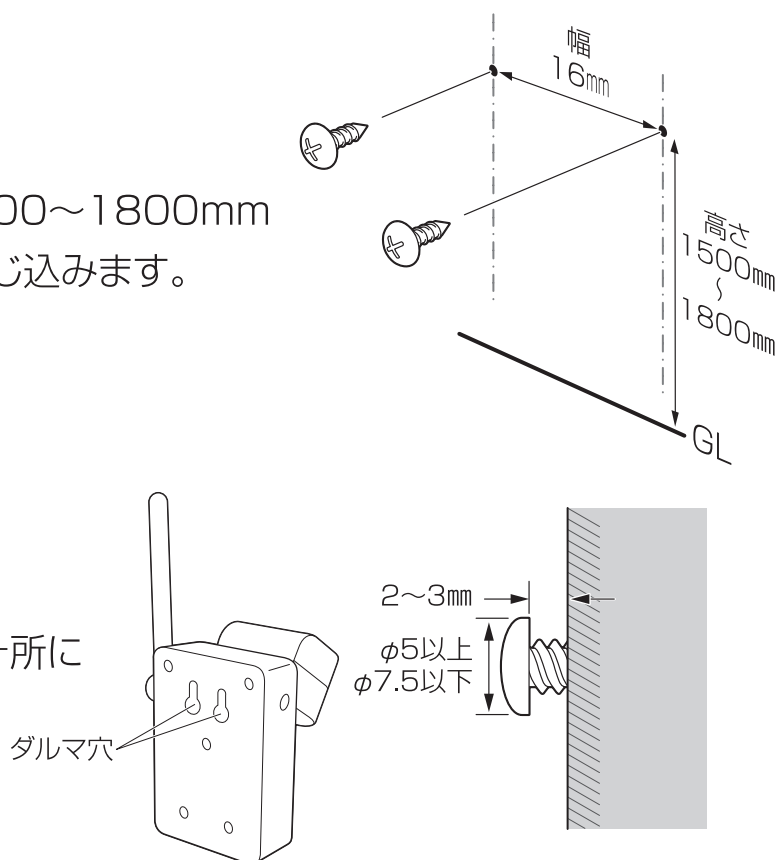


ネジでの取り付け

1. 壁に付属の $\phi 4$ のネジを床から 1500～1800mm の高さにピッチ 16mm の間隔でねじ込みます。
このとき、最後まで締め込まず、
壁とネジ頭の首の距離を 2～3mm
あけてください。

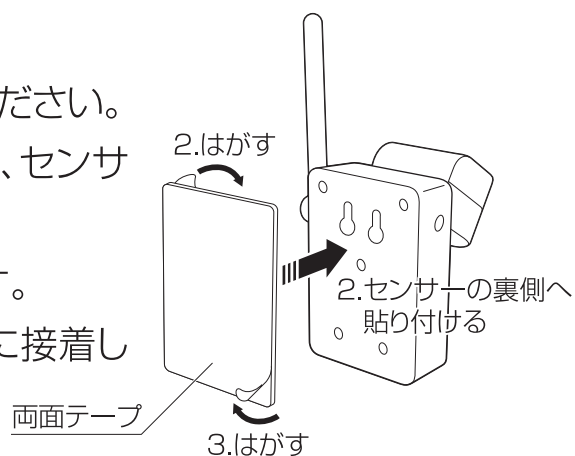
※壁の材質によって、必要な
ネジ用アンカーをご用意ください。

2. 人感センサー本体裏のダルマ穴2ヶ所に
ネジ頭を入れて、下へスライドし
確実に引っ掛けてください。



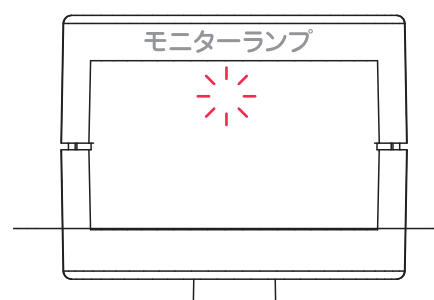
両面テープでの取り付け

1. 接着面の汚れやホコリをきれいに拭き取ってください。
2. 付属の両面テープの片面のはくり紙をはがし、センサーの裏面に貼り付けます。
3. 両面テープのもう一方のはくり紙をはがします。
4. センサー本体を設置面に強く押しつけ、確実に接着したことを確認してください。



●電池交換

「モニターランプ」が点滅している場合は、
早急に電池を交換してください。



取り付け方

ワイヤレスマグネット振動センサーの設置

●電池の入れ方

右図の方法で電池カバーをはずして古い電池をはずします。

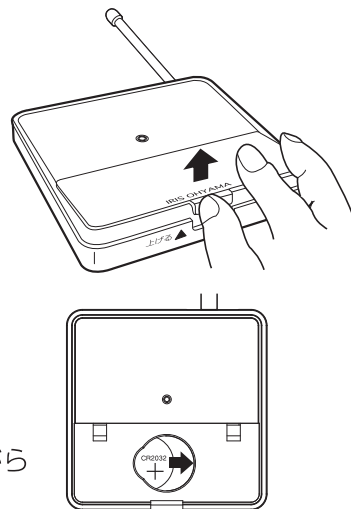
(購入時はダミーが入っています)

⊕ ⊖ の極性を間違えずに必ず ⊕ を上にしてくぼみに置き、押しながら左へスライドさせ、確実にセットします。電池カバーのツメ2ヶ所を穴に差し込み、取手を下へ押し込んでカバーを閉めます。

①電池カバーのツメを上へ上げてはずす。

②古い電池を押しながら右へスライドさせ電池をはずす。

③新しい電池を押しながら左へスライドさせ、電池をセットする。



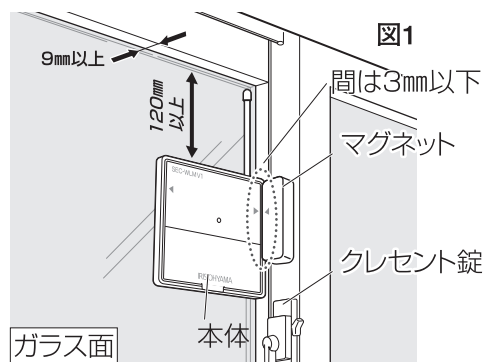
●取付方法

本体は薄型設計ですが、窓の形状によっては窓を開ける時に、窓枠が本体に当たって開けられなくなる場合があります。したがって両面テープで貼り付ける前に下記①、②を確認のうえ行なってください。

①ガラス面とサッシ面との距離が9mm以上あり窓の開閉時に本体と窓枠が接触しない場合

図1のように本体をクレセント錠など窓のカギの周囲に貼り付けます。そしてマグネット部をもう一方の窓枠の背に貼り付けます。(本体の▶マークとマグネット部の◀マークが合うように貼り付けます。)このとき、本体とマグネットの距離が3mmを超えていると、正常に動作しません。

※通常はこちらをおすすめします。

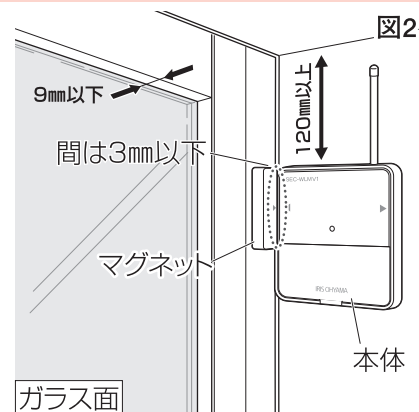


②ガラス面とサッシ面との距離が9mm以下のため窓の開閉時に本体に窓枠が当たる場合

図2のように窓を開ける時にあまり支障がない位置に貼り付けてください。(本体の▶マークとマグネット部の◀マークが合うように貼り付けます。)このとき、本体とマグネットの距離が3mmを超えていると、正常に動作しません。

※マグネット部は本体に対して左右どちらでも動作します。

※貼り付け前には貼付面の汚れを十分に拭き取ってください。

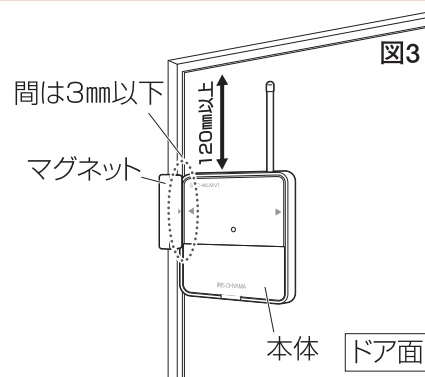


③ドアに取り付ける場合

図3のようにドアを開ける時にあまり支障がない位置に貼り付けてください。(本体の▶マークとマグネット部の◀マークが合うように貼り付けます。)このとき、本体とマグネットの距離が3mmを超えていると、正常に動作しません。

※マグネット部は本体に対して左右どちらでも動作します。

※貼り付け前には貼付面の汚れを十分に拭き取ってください。



注意

- 一度貼り付けた本体をはがして再度貼り付けると、テープの粘着力が低下しますので、落下などの原因になります。貼り付ける前に十分確認して行ってください。
- くもりガラスに取り付ける際は、本体の粘着面がガラスに密着されないため、はがれることがあります。
- 振動センサーは、本体の▶マークとマグネットの◀マークが必ず合うように並べて設置してください。

●取付手順

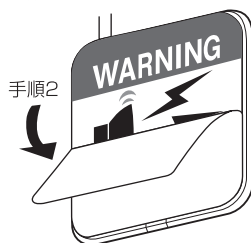
手順1

貼り付ける場所の汚れ、ホコリなどを拭き取ってください。



手順2

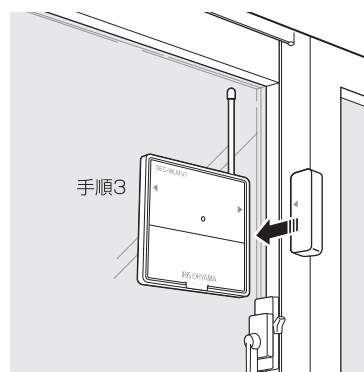
裏面の両面テープの離けい紙を外してください。



手順3

本機を貼り付けてください。

ガラスが割れないように注意しながら、しっかり押しつけてください。



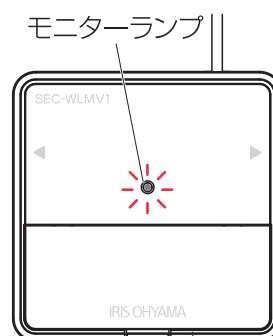
手順4

前記の図1または図2のようにマグネット部を取り付けてください。

●電池交換

「モニターランプ」が連続で1秒おきに点滅している場合は、早急に電池を交換してください。

※センサーを金属アミ入りガラスや特殊金属被膜をコーティングした省エネペアガラスなどの窓ガラスに設置した場合、電波の届く範囲が短くなる場合がありますので、別売の外部入力マグネットSEC-WLOMをご購入ください。



設定方法

プログラムの設定

設定する項目

1. 暗証番号：3～6桁の数字を任意に設定します。(P13参照)
(初期設定は「000」です)
本体でのプログラム設定や、警備モード設定・解除時に
本人確認用パスワードとして使用します。
2. 緊急通報先：最大5件までの電話番号(1件最大32桁)を記憶することができます。(P14参照)
3. 割当：センサーやリモコンを追加する場合、追加登録を設定します。(P14参照)
(付属のセンサー、リモコンは出荷時にすでに設定されています)
4. 警報アラームのON/OFF：センサー反応時ダイヤルUP本体からの警報アラーム音
(90dB:30秒間アラーム→30秒間停止→30秒間アラーム)
の有無を設定します。(P16参照)
(初期設定は「ON」です)
5. 通報のON/OFF：センサー反応時設定した電話番号への通報の有無を設定
します。(P16参照) (初期設定は「ON」です)
6. 通報回数：通報先に設定した電話番号への通報回数(1～5回まで)を設定します。
(P17参照) (初期設定は「3回」です)
※かけた電話番号は約10～13コール呼び出します。出なかった
場合、次の電話番号に通報します。前の通報から次の通報までは
約1分40秒後となります。
7. 外部コントロール時の設定モード切替え呼び出し音数：
外部から本機をコントロールするとき、外部設定モードに切り替わるまでの自宅の
電話呼び出し音数(OFF、5回、7回、10回)を設定します。(P17参照)
(初期設定は「10回」です)
8. 通報待機時間：警備モード中にセンサーが反応したとき、警報アラームが鳴る
までの待機時間(0秒、5秒、10秒、15秒、20秒)を設定
します。(P18参照) (初期設定は「20秒」です)
9. 時計：現在時刻を設定します。(P18参照)
通報した履歴を時間で追うことができます。
(最後の通報から数えて5番目までの時間)
※ご購入時は設定されていません。

設定を始める前に



- まず、表示部の「警備」が消灯していることを確認してください。

「警備」が点灯している場合は、暗証番号3桁の数字（初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力してから  を押してください。

「警備」が消灯し、設定可能になります。

- 暗証番号（初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力し、
 を押すと「設定」モードに入ります。

 を押すごとに「暗証番号」→「通報先」→「割当」→「」→「」→「回数」→「」→「」に切り替わります。点滅しているモードの設定を行うことができます。

※次の操作ボタンを15秒以内に押さないと、自動的に設定モードが解除されます。

すぐに使いたいときは

- 設定する項目を、初期設定のまま変更しないときは、
「通報先」を設定するだけで、すぐご使用いただけます。

●通報先の設定

1. 暗証番号（出荷時の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力し、

 を押すと「設定」モードに入ります。

2.  を押し、機能メニューの「通報先」の点滅を確認します。

3.  を押し、通報先の電話番号を入力します。

- 32桁までの電話番号を設定できます。
- 通報先の電話番号は①～⑤の5つまで記憶することができます。
- もし選択したところに電話番号が入力されてある場合は、すでに入力してある番号が点滅表示されます。
- 番号を変更する必要がなければ[▲][▼]ボタンを押して次の番号の設定を続けます。
- 番号を変更する場合は[警備/解除・入力]ボタンを押してすでに入力してある番号を削除してから新しい番号を入力します。

4.  を押し、機能メニュー表示に戻ります。

◆通報先の設定終了です。

5.  を何度か押すか、15秒待って設定モードより退出してください。

※いたずら防止の為、できるだけ早く新しい暗証番号の設定をおすすめします。



設定方法

プログラムの設定

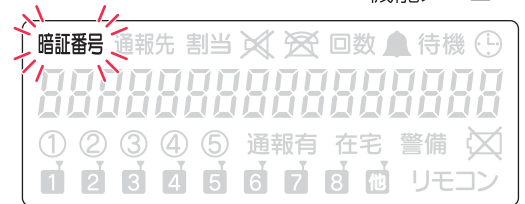
暗証番号の設定・変更

ダイヤルUP本体を操作するために必要な暗証番号(3～6桁の数字)の設定です。

いたずら防止の為、新しい暗証番号の設定をおすすめします。

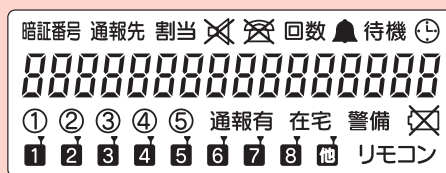
1. 暗証番号(初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」)を入力し、**設定**を押すと「設定」モードに入り、機能メニューの「暗証番号」の点滅を確認します。
2. **警備解除**を押し、暗証番号(3～6桁の数字)を入力します。
3. **警備解除**を押し、機能メニュー表示に戻ります。
◆暗証番号の設定終了です。
4. 次の設定を続けて行う場合は、15秒以内に**設定**を押し、次のメニューに進み各設定の説明 3より操作を行なってください。設定を終える場合は**設定**を何度か押すか、15秒待って設定モードより退出してください。

機能メニュー



暗証番号を忘れたときは

- 1) **設定** を押し続けます。
- 2) 2秒後に「ピッ」という確認音のあとに **設定** は押し続けたまま本体裏のリセットボタンをシャープペンのような先のとがったもので押します。
- 3) 液晶表示が全消灯後、約2秒間全表示され、時間表示に戻ります。



時間表示

- 4) 時間表示に戻ったことを確認したあとに **設定** ボタンを離してください。
- 5) リセット完了です。
- 6) 暗証番号は初期設定の「000」に設定されていますので新しい暗証番号を再度設定してください。

※このとき、時計の設定も消去されますので、再設定をしてください。

緊急通報先の設定・変更

センサーが異常を感知したときに通報する電話番号の設定です。

機能メニュー

1. 暗証番号（初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力し、 を押すと「設定」モードに入ります。
2.  を押し、機能メニューの「通報先」の点滅を確認します。
3.  を押し、通報先の電話番号を入力します。



- 32桁までの電話番号を設定できます。
- 通報先の電話番号は①～⑤の5つまで記憶することができます。
- もし選択したところに電話番号が入力されてある場合は、すでに入力してある番号が点滅表示されます。
- 番号を変更する必要があるければ[▲][▼]ボタンを押して次の番号の設定を続けます。
- 番号を変更する場合は[警備/解除・入力]ボタンを押してすでに入力してある番号を削除してから新しい番号を入力します。

4.  を押し、機能メニュー表示に戻ります。

◆緊急通報先の設定終了です。

5. 次の設定を続けて行う場合は、15秒以内に  を押し、次のメニューに進み各設定の説明 3 より操作を行ってください。
設定を終える場合は  を何度か押すか、15秒待って設定モードより退出してください。

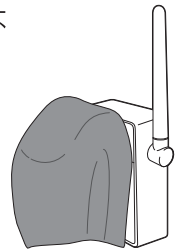
割当 の設定・変更

センサーやリモコンキーをダイヤルUP本体に割当（登録）するものです。

センサーは最大16個まで割当することができます。①～⑧までは個別に割当ができ、他には合計8個のセンサーが割当できます。

※ダイヤルUP本体の在宅モード、警備モードを解除してください。

※セット品に入っているセンサーは割当済ですので必要ありません。追加するセンサー、リモコンキーのみ行なってください。



■ワイヤレス人感センサーの割当設定

1. 人感センサーに別売の単4電池4本をセットし、1分待ちます。

このときセンサーのレンズが人や動物を感知しないようにハンカチなどの布をかぶせてください。

2. 1分経過したら、ダイヤルUP本体に暗証番号（初期設定は3桁の数字「000」）を入力し、 を押すと「設定」モードに入ります。

3.  を2回押し機能メニューの「割当」の点滅を確認します。

4.  を押します。

5. ①～他 が点滅し、「FULL」または「NO Id CodE」が表示されます。
「FULL」の場合はすでに割当されているので「NO Id CodE」が表示するまで   を押します。



6.  を押し、①～他 が点灯している15秒の間にセンサーの布をはずし、手などをかざして感知させます。

7. 本体から「ピーツ」と確認音がしたら割当完了です。

※間違って割当を設定した場合、または設定するセンサーを変更する場合は、訂正する番号のピクト①～他を点滅させて  を押すことで入力されていたデータを消去できます。

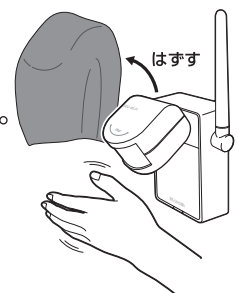
続けて設定する場合は、5に戻って設定を続けてください。

8.  を押して、機能メニュー表示に戻ります。

◆割当の設定終了です。

9. 次の設定を続けて行う場合は、15秒以内に  を押し、次のメニューに進み各設定の説明 3 より操作を行ってください。

設定を終える場合は  を何度か押すか、15秒待って設定モードより退出してください。



設定方法

プログラムの設定

割当 の設定・変更

■マグネット振動センサーの割当設定

1. マグネット振動センサーに付属のボタン電池CR2032を1個セットします。

このときセンサーが誤作動しないようにセンサーとマグネットを近づけたり、振動を与えないでください。

2. 暗証番号（初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力し、**設定** を押すと「設定」モードに入ります。

3. **設定** を2回押し機能メニューの「割当」の点滅を確認します。

4. **警備解除** を押します。

5. **1**～**他** が点滅し、「FULL」または「NO Id CodE」が表示されます。「FULL」の場合はすでに割当されているので「NO Id CodE」が表示するまで ***▲** **#▼** を押します。

6. **警備解除** を押し、**1**～**他** が点灯している15秒の間にセンサーの▶マークとマグネットの◀マークを一度合わせて離します。

7. 本体から「ピーッ」と確認音がしたら割当完了です。

※間違えて割当を設定した場合、または設定するセンサーを変更する場合は、

全てのセンサーの電池と電源を抜き、訂正する番号のピクト **1**～**他** を点滅させて

ボース 削除 を押すことで入力されていたデータを消去できます。

続けて設定する場合は、5に戻って設定を続けてください。

8. **設定** を押して、機能メニュー表示に戻ります。

◆割当の設定終了です。

9. 次の設定を続けて行う場合は、15秒以内に **設定** を押し、次のメニューに進み各設定の説明 3 より操作を行ってください。

設定を終える場合は **設定** を何度か押すか、15秒待って設定モードより退出してください。

■リモコンキーの割当設定

●リモコンキーは最大8個、割当できます。

1. リモコンキーにボタン電池CR2032（付属）がセットされていることを確認します。

2. 暗証番号（初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力し、**設定** を押すと「設定」モードに入ります。

3. **設定** を2回押し機能メニューの「割当」の点滅を確認します。

4. **警備解除** を押します。

5. 機能メニューに「リモコン」が点滅するまで ***▲** **#▼** を押します。（「FULL」の場合はすでに割当されているのでリモコンキーの追加割当はできません。）

6. 「1～7 Id CodE IN」が表示されている場合は **警備解除** を押し、リモコンが点灯している15秒の間にリモコンキーの **警備** または **解除** ボタンを押してください。

7. 本体から「ピーッ」と確認音がしたら割当完了です。

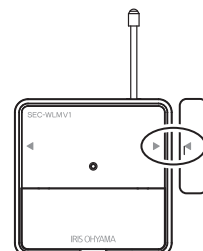
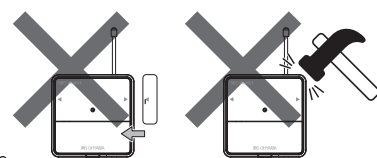
続けて設定する場合は、6に戻って設定を続けてください。

8. **設定** を押して、機能メニュー表示に戻ります。

◆割当の設定終了です。

9. 次の設定を続けて行う場合は、15秒以内に **設定** を押し、次のメニューに進み各設定の説明 3 より操作を行ってください。

設定を終える場合は **設定** を何度か押すか、15秒待って設定モードより退出してください。



警報アラーム ON/OFF の設定

センサーが異常を感知したときダイヤルUP本体より警報アラームを「鳴らす」・「鳴らさない」の設定です。初期設定はアラームを「鳴らす」に設定しております。

- ・暗証番号（初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力し、

を押すと「設定」モードに入ります。

- ・を3回押し、機能メニューの「」の点滅を確認します。

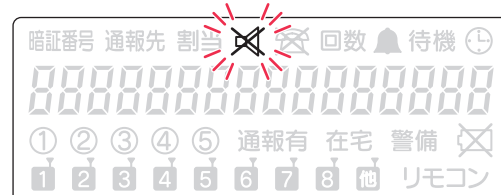
- ・を押します。

- ・  を押し、「Sound ON」（アラームが鳴ります）
「Sound OFF」（アラームは鳴りません）を選択します。

- ・を押し、機能メニュー表示に戻ります。

◆アラームON/OFFの設定終了です。

機能メニュー



※「Sound OFF」を選択した場合、機能メニューには「」が常時表示されます。また、警備モードに設定してもセンサー感知時、警報アラームが鳴りませんのでご注意ください。

- ・次の設定を続けて行う場合は、15秒以内に  を押し、次のメニューに進み各設定の説明 3 より操作を行なってください。

設定を終える場合は  を何度か押すか、15秒待って設定モードより退出してください。

通報 ON/OFF の設定

センサーが異常を感知したとき通報を「する」・「しない」の設定です。

初期設定は通報を「する」に設定しております。

- ・暗証番号（初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力し、

を押すと「設定」モードに入ります。

- ・を4回押し、機能メニューの「」の点滅を確認します。

- ・を押します。

- ・  を押し、「CALL ON」（通報します）「CALL OFF」（通報しません）を選択します。

- ・を押し、機能メニュー表示に戻ります。

◆通報ON/OFFの設定終了です。

機能メニュー



※「CALL OFF」を選択した場合、機能メニューには「」が常時表示されます。また、警備モードに設定してもセンサー感知時、通報しませんのでご注意ください。

- ・次の設定を続けて行う場合は、15秒以内に  を押し、次のメニューに進み各設定の説明 3 より操作を行なってください。

設定を終える場合は  を何度か押すか、15秒待って設定モードより退出してください。

設定方法

プログラムの設定

通報回数の設定

記憶している電話番号へ1から順番に通報し、最後まで通報し終わると再度1から通報しなおします。
この通報しなおすサイクル数を設定します。初期設定は「3回」に設定しております。

1. 暗証番号（初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力し、

を押すと「設定」モードに入ります。

2. を5回押し、機能メニューの「回数」の点滅を確認します。

3. を押します。

4.   を押し、「1～5」回を選択します。

5. を押し、機能メニュー表示に戻ります。

◆通話回数の設定終了です。

6. 次の設定を続けて行う場合は、15秒以内に  を押し、次のメニューに進み各設定の説明 3 より操作を行なってください。

設定を終える場合は  を何度か押すか、15秒待って設定モードより退出してください。



外部コントロール時の呼び出し回数の設定

外部よりダイヤルUP本体をコントロールする時に外部設定モードに切り替わるまでの自宅の電話の呼び出し回数の設定です。初期設定は「10回」に設定しております。

注意）通常使用時（警備モード以外）でも、設定した呼び出し回数を過ぎると、電話の呼び出し音は停止します。外部コントロール機能と自宅の電話機の留守録機能・子機への転送機能との併用はできません。優先する機能が先に動作するように設定してください。

1. 暗証番号（初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力し、

を押すと「設定」モードに入ります。

2. を6回押し、機能メニューの「」の点滅を確認します。

3. を押します。

4.   を押し、「OFF、5、7、10」回を選択します。

※OFFを選択すると、外部コントロール機能は使用できません。また、機能メニューに「」の表示はありません。

注意）ナンバーディスプレイサービスを利用している場合、電話機によっては5回の設定が使用できないことがあります。その際は7回以上に設定するかOFFを選択してください。

5. を押し、機能メニュー表示に戻ります。

◆外部コントロール時の設定モード切替呼び出し回数の設定終了です。



※必ず動作確認を行い、外部設定モードに正しく移行するか確かめてください。

先に留守番電話やFAXになったり、子機への転送になるなど、ご自宅の電話の設定と干渉する場合は、ダイヤルUP本体または、ご自宅の電話機の取扱説明書をご確認のうえ、設定を変更してください。

通報待機時間の設定

センサーが感知してから警報アラーム・通報するまでの時間の設定です。

リモコンを使用しない場合、警備範囲に入ってから本体の警備モードを解除できる時間を設定すると便利です。

通報待機時間内に本体の警備解除がされない場合は警報アラームと通報を行います。初期設定は「20秒」に設定しております。

1. 暗証番号（初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力し、

 を押すと「設定」モードに入ります。

2.  を7回押し、機能メニューの「待機」の点滅を確認します。

3.  を押します。

4.   を押し、「0、5、10、15、20」秒を選択します。

5.  を押し、機能メニュー表示に戻ります。

◆通報待機時間の設定終了です。

6. 次の設定を続けて行う場合は、15秒以内に  を押し、次のメニューに進み各設定の説明 3 より操作を行なってください。

設定を終える場合は  を何度か押すか、15秒待って設定モードより退出してください。



時計の設定

1. 暗証番号（初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力し、

 を押すと「設定」モードに入ります。

2.  を8回押し、「」の点滅を確認します。

3.  を押すごとに、「年・月・日・時・分」の設定モードに切り替わります。

4.   を押し、現在時刻に合わせます。

5.  を押すと、プログラムの設定が終了し、警備解除状態となります。

◆時計の設定終了です。



設定方法

モードの設定

警備モードの設定・解除

■リモコンキーによる設定・解除

暗証番号の入力はいりません。

設定は **警備** を、解除は **解除** のボタンを1秒以上の長押しで操作できます。

■ダイヤルUP本体による警備モードの設定

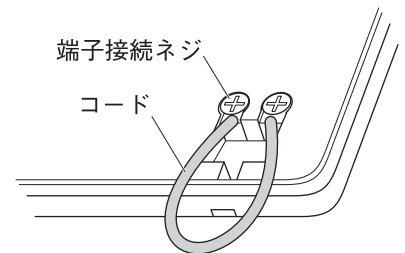
1. 暗証番号を入力します。
2. **警備** を押すと、「ピッ、ピッ、ピッ」と確認音が3回鳴り、「警備」が表示されます。

機能メニュー



こんな時は！

「ピッピッピッピッ……」と警告音が鳴り続け機能メニューに「CLOSE PLEASE」と表示された場合は、マグネット振動センサーを設置した窓が開いているか外部入力端子のコードがはずれています。機能メニューのセンサー割当NOを確認し、そのセンサーが設置してある窓を閉めてください。それでも鳴りやまない場合は、センサーの外部入力端子にコードが接続されているか確認してください。



3. 「警備」が表示されてから、**約60秒後**に「ピーッ」と長い確認音が鳴り「警備」モードに入ります。

警備モード設定後、「警備」モードに入る60秒の間に警備範囲より退出してください。警備モード中にセンサーが感知すると「通報待機時間」経過後警報アラームが鳴ります。（30秒間アラーム→30秒間停止→30秒間アラーム）
通報設定がONの場合は直ちに緊急通報先に通報します。
※あやまってアラームが鳴った場合は警備モードを解除する事で警報アラームは鳴りやみます。

機能メニュー

■ダイヤルUP本体による警備モードの解除

1. 暗証番号を入力します。
2. **解除** を押すと、「ピーッ」と長い確認音が1回鳴り、機能メニューの「警備」が消灯します。



在宅モードの設定・解除

センサーが感知しても通報せず、警報アラームのかわりにチャイム音で知らせるモードです。在宅時の簡易な警備に適しています。また、チャイム音を鳴らすセンサーと鳴らさないセンサーを設定できる為、状況に応じたシステムを個別に作ることができます。

※個別に設定できるのは **1**～**8**までのセンサーです。**他**はひとまとまりで「ON」・「OFF」の設定となります。

●まず、機能メニューの「警備」が消灯していることを確認してください。

「警備」が点灯している場合は、暗証番号を入力してから  を押してください。「警備」が消灯し、設定可能になります。

機能メニュー

●  を押すと「ピンポン」と確認音のあとに「在宅」が点灯してから**約60秒後**に「ピーッ」と確認音が鳴り、「在宅」モードに入ります。



●解除する場合は  を押します。

「警備」モードの設定を行うと、「在宅」モードは強制的に解除されます。

センサー感知のON/OFFを設定する

●まず、機能メニューの「警備」および「在宅」が消灯していることを確認してください。

「警備」が点灯している場合は暗証番号を入力してから  を押してください。「警備」が消灯し、設定可能になります。「在宅」が点灯している場合も「警備」と同じ手順で消灯させてください。

1. 暗証番号（初期設定の暗証番号は3桁の数字「000」）を入力します。

機能メニュー

2.  を押すと、「在宅」が表示され **1**～**他**が点滅します。

3.   を押して、設定したいセンサーの番号を選択し  を押します。

4. 表示部に「ON」・「OFF」が表示されます。

5.   を押して「ON」か「OFF」を選択し  を押します。

「ON」を選択したセンサーは感知し、「OFF」を選択したセンサーは感知しません。必要に応じて感知させるセンサーのみを「ON」にしてください。



続けて設定する場合は3に戻って設定を続けてください。

6. 設定を中止する場合は  を押すか15秒間放置すると自動的に「センサーON/OFF設定」モードより退出します。

緊急時にアラームを鳴らす

1. 本体の  か、リモコンキーの  を押すと、直ちに約30秒間アラームが鳴ります。

2. 解除する場合は、リモコンキーの  を押してください。

ダイヤルUP本体で解除する場合は、暗証番号を入力してから  を押してください。

外部の電話機から本機を遠隔操作することができます。

外部からの警備モードの設定

1. 防犯システムが設定してある電話番号へ電話をかけます。
(設定できるのは携帯電話およびプッシュホン回線の固定電話のみです。)
2. 設定された呼び出し回数 (OFF、5、7、10回) の呼び出し音になり終わると外部設定モードに切り替わり、「ピーツ」と確認音が鳴ります。
※OFFに設定した場合、外部コントロール機能は使えません。
3. 暗証番号 (3～6桁の数字) を入力すると「ピーツ」と確認音が鳴ります。
4. 「00」を押すと「ピッ、ピーツ」と確認音が鳴ります。
5. 「11」を押すと「ピッ、ピッ、ピッ」の確認音の後に自動で切れ、設定完了です。

外部からの警備モードの解除

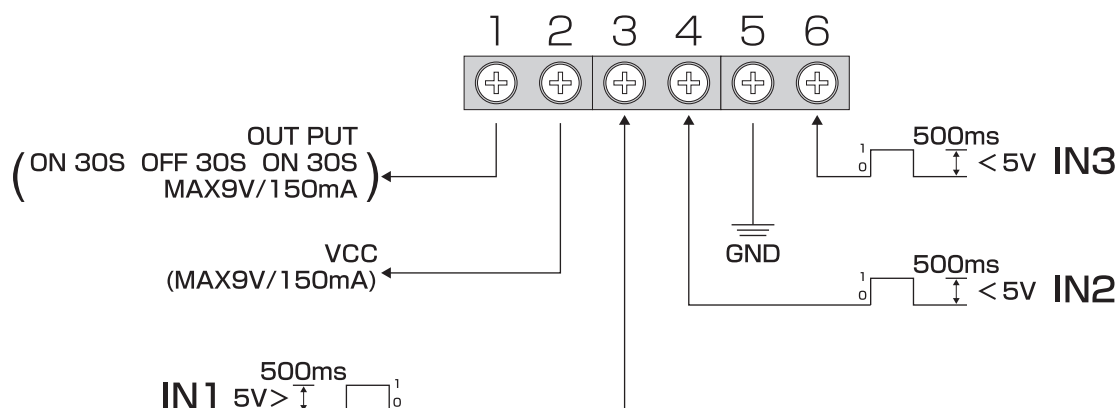
1. 防犯システムが設定してある電話番号へ電話をかけます。
(解除できるのは携帯電話およびプッシュホン回線の固定電話みです。)
2. 設定された呼び出し回数 (OFF、5、7、10回) の呼び出し音になり終わると外部設定モードに切り替わり、「ピーツ」と確認音が鳴ります。
※OFFに設定した場合、外部コントロール機能は使えません。
3. 暗証番号 (3～6桁の数字) を入力すると「ピッ、ピー」と確認音が鳴ります。
4. 「00」を押すと「ピッ、ピーツ」と確認音が鳴ります。
5. 「22」を押すと「ピーツ」の確認音の後に自動で切れ、設定完了です。

外部からの自宅音モニター

1. 防犯システムが設定してある電話番号へ電話をかけます。
(モニターできるのは携帯電話およびプッシュホン回線の固定電話のみです。)
2. 設定された呼び出し回数 (OFF、5、7、10回) の呼び出し音になり終わると外部設定モードに切り替わり、「ピーッ」と確認音が鳴ります。
※OFFに設定した場合、外部コントロール機能は使えません。
3. 暗証番号 (3～6桁の数字) を入力すると「ピッ、ピー」と確認音が鳴ります。
4. 「00」を押すと「ピッ、ピーッ」と確認音が鳴ります。
確認音が鳴らない場合は再度「00」を押してください。
5. 「* *」を押すと「ピッ、ピーッ」の確認音の後より50秒間自宅の音をモニターできます。
6. 30秒経過した時点で「ピッ、ピッ、ピッ」と確認音が鳴り残り20秒であることをお知らせします。
7. 延長してモニターしたい場合は4に戻って操作をしてください。
何度でもモニター時間を延長することができます。
8. ほかのモードに移行したい場合は「00」を押した後に
威嚇発声の場合は「##」
警備モード設定の場合は「11」
警備モード解除の場合は「22」を押してください。

外部入力・出力

システムの発展性を考慮して、外部入力・出力を用意しております。



操 作

本機から警備異常通報がかかってきたら…

警備異常通報がかかってきた場合、電子音の種類で感知したセンサー類を確認することができます。

「ピッピッピッピッ ピッピッピッピッ ピッピッピッピッ…」

→本機およびリモコンの「緊急」ボタンが押されました。

「ピッピッ ピッピッ ピッピッ ピッピッ ピッピッ…」

→マグネット振動センサーが感知しました。

「ピッ ピッ ピッ ピッ ピッ ピッ ピッ ピッ…」

→人感センサーが感知しました。

自宅音モニター

警備異常通報を受けた時、ダイヤルUP本体周辺の音をモニターすることができます。

1. 通報の電話をとり、電子音を確認します。
2. 「00」を押すと「ピッ、ピー」と確認音がします。
3. 「* *」を押すと「ピッ、ピー」の確認音の後より50秒間自宅の音をモニターできます。
4. 30秒経過した時点で「ピッ、ピッ、ピッ」と確認音が鳴り残り20秒であることをお知らせします。
5. 延長してモニターしたい場合は2に戻って操作をしてください。
何度でもモニター時間を延長することができます。
6. ほかのモードに移行したい場合は「00」を押した後に
威嚇発声の場合は「##」
警備モード解除の場合は「2」+「暗証番号」+「2」を押してください。

威嚇発声

警備異常通報を受けた時、ダイヤルUP本体から威嚇発声することができます。

1. 通報の電話をとり、電子音を確認します。
2. 「00」を押すと「ピッ、ピー」と確認音がします。
確認音が鳴らない場合は再度「00」を押してください。
3. 「##」を押すと「ピッ、ピー」の確認音の後より50秒間、威嚇発声できます。
4. 30秒経過した時点で「ピッ、ピッ、ピッ」と確認音が鳴り残り20秒であることをお知らせします。
5. 延長して威嚇発声したい場合は2に戻って操作をしてください。
何度でも威嚇発声時間を延長することができます。
6. ほかのモードに移行したい場合は「00」を押した後に
自宅音モニターの場合は「* *」
警備モード解除の場合は「2」+「暗証番号」+「2」を押してください。

通報停止

警備異常通報を受けた時、それ以後の通報を受けた電話機から停止することができます。

1. 通報の電話をとり、電子音を確認します。
2. 「00」を押すと「ピッ、ピー」と確認音がします。
確認音が鳴らない場合は再度「00」を押してください。
3. 「* 0」を押し「ピッ、ピー」の確認音が鳴れば通報停止受付完了です。

警備モードの解除

警備異常通報を受けた時、必要であれば本機の警備モードを解除することができます。

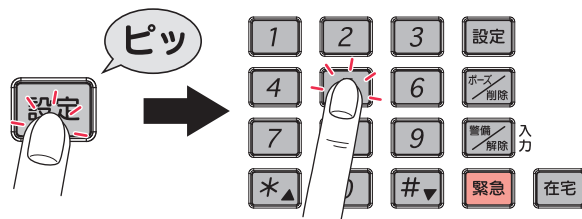
1. 通報の電話をとり、電子音を確認します。
2. 「00」を押すと「ピッ、ピー」と確認音がします。
確認音が鳴らない場合は再度「00」を押してください。
3. 「2」+「暗証番号」+「2」を押し「ピッ、ピー」の確認音が鳴れば警備モード解除受付完了です。

動作の確認

おでかけやお休み前の設定

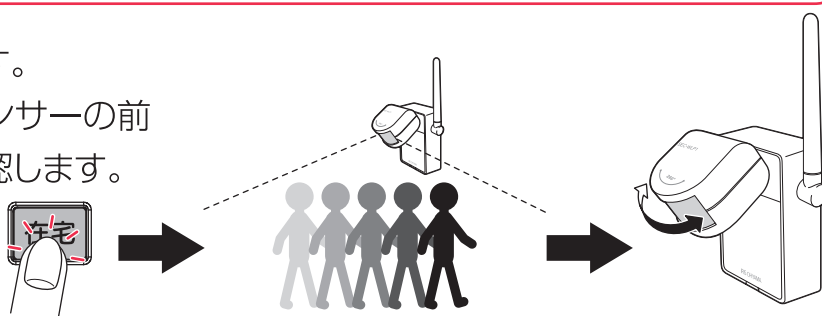
「通報先」に設定した電話番号への通報を確認

1. **設定** を2秒間押すと、「ピッ」と確認音がします。
2. 通報確認を行いたい電話番号の登録数字(1～5)を押すと、該当する電話番号へ1回通報を行います。



人感センサーの感知範囲をチャイムモードで確認

1. **在宅** を押して約60秒待ちます。
2. 「ピーッ」と確認音の後、人感センサーの前をゆっくり歩いて感知範囲を確認します。
3. 最適な感知範囲になるようセンサーを調整します。



電池の交換時期

●ダイヤルUP本体 SEC-WL16S1

「電池交換ランプ」が点滅している場合は、早急に電池を交換してください。

停電やAC電源がはずれた場合、警備機能が正常に働かないおそれがあります。



●リモコンキー SEC-WLR1

操作ボタンを押しても本体が動作しなかったり、モニターランプが暗い場合は電池の交換時期です。早急に電池を交換してください。



●人感センサー SEC-WLP1の電池交換時期はP8を参照してください。

●マグネット振動センサー SEC-WLMV1の電池交換時期はP9を参照してください。

■ダイヤルUP本体によるリモコンキー、センサーの電池交換時期の確認

ダイヤルUP本体の液晶表示部「」が点灯した場合、同時に点灯しているセンサー **1** ～ **他** やリモコンは、電池の交換時期です。早急に電池を交換してください。



通報記録の確認

「警備」モード解除中、を押すと、最後から5回前までの通報時間を確認することができます。

「通報先」に設定した電話番号の確認

「警備」モード解除中、を押すと、設定した電話番号を確認することができます。

アラーム・リモコンキーの動作確認

リモコンキーを使用し、アラーム音が鳴るか、音量が小さくないか確認します。
同時にリモコンキーの動作確認もします。

- ①リモコンキーのを押します。
- ②アラーム音を確認します。
- ③リモコンキーのを押し、アラームを止めます。
- ④リモコンキーのを押し、ダイヤルUP本体からの確認音と警備モードになっているか確認します。
- ⑤リモコンキーのを押し、警備モードを解除します。

センサーの動作確認

在宅モードに設定して、センサーの動作確認をします。

- ①ダイヤルUP本体のを押して在宅モードに設定します。
- ②60秒待つて確認音を聞き、在宅モードになったことを確認後、各センサーの動作確認をします。

センサーを感知させた時、ダイヤルUP本体からチャイムが鳴れば正常です。

- ③ダイヤルUP本体のを押して在宅モードを解除します。

お手入れ

- 製品などの汚れ落としには、乾いたやわらかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤少量を含ませた 柔らかい布で拭き取るときれいになります。
- シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対に拭かないでください。

仕 様

<ダイヤルUP本体/SEC-WL16S1>

使用電話回線:アナログプッシュ回線(※1)
消費電流:約20mA(待機中)約150mA(アラーム発報中)
電源:AC100V50/60Hz(専用ACアダプター/DC9V/500mA)
非常用電源:DC9V 9V角型アルカリ乾電池×1(※2別売品)
電池寿命:約22時間(連続待機使用として算出)
暗証番号設定:3~6桁の任意の数字
緊急通報先設定:5ヶ所
記憶電話番号数:32桁(ポーズ含む)
設定センサー、リモコン数:センサー最大16個・リモコン最大8個
アラーム音:90dB(測定距離1m)30秒アラーム2回(30秒アラーム-30秒休み-30秒アラーム)
アラーム ON/OFF設定
通報ON/OFF設定
通報回数設定:1~5回
通報待機時間:0.5,10,15,20秒
警備モード設定待機時間:60秒
モード:警備モード/在宅モード
表示:液晶ディスプレイ・電源LED・電池交換LED
モジュラー式端子:電話機へ(入力側)・回線へ(出力側)
自宅音モニター:内蔵マイク
威嚇発声:内蔵スピーカー
外部入力/出力端子:IN1・IN2・GND・OUT・VCC
寸法:W約156mm×D約120mm×H約38mm(アンテナ含まず)
質量:約310g(専用ACアダプター含まず)

<人感センサー/SEC-WLP1>

消費電流:約50 μ A(待機中)約20mA(送信中)
電波到達距離:見通し約60m(※4)
電源:AC100V50/60Hz(専用ACアダプター/DC9V/100mA)
電源:DC6V 単4アルカリ乾電池×4(※2別売品)
電池寿命①:約1年(送信4回/日として算出)
電池寿命②:約10日(送信8時間/日として算出。人通りの多い居間など)
感知範囲:水平方向100度、垂直中心より下方へ30度
感知距離:8m(設置条件 壁付け高さ1.5m以上)
表示:送信モニターLED
寸法:W約60mm×D約85mm×H約60mm(アンテナ含まず)
質量:約140g(専用ACアダプター含まず)

<マグネット振動センサー/SEC-WLMV1>

消費電流:約6 μ A(待機中)約18mA(送信中)
電波到達距離:見通し約60m(※4)
電源:DC3V CR2032ボタン電池×1(※3付属品)
電池寿命:約2年(送信1回/日として算出)
表示:送信モニターLED
入力端子:外部入力
寸法:W約70mm×D約70mm×H約9mm(アンテナ含まず)
質量:約35g

<リモコンキー/SEC-WLR1>

消費電流:約8 μ A(待機中)約18mA(送信中)

電波到達距離:見通し約30m(※4)

電源:DC3V CR2032ボタン電池×1(※3付属品)

電池寿命:約6ヶ月(送信4回/日として算出)

表示:送信モニターLED

警備モード設定ボタン・警備モード解除ボタン・緊急ボタン

寸法:W約32mm×D約73mm×H約12mm

質量:約28g(キーホルダー含む)

<各部共通>

無線方式:特定小電力セキュリティー

動作温度:0℃～35℃

動作湿度:25%～85%(結露しないこと)

■注意事項

※1) 使用する電話回線はプッシュ回線以外はご使用になれません。

ダイヤル回線をご使用の場合はプッシュ回線への契約変更によりご利用いただけます。

※2) 使用には別売乾電池が必要になりますので、仕様をご確認のうえご購入ください。

※3) 付属されている電池はテスト用です。お早めに新品の電池と交換してください。

※4) ダイヤルUP本体とセンサー、リモコンキー間の電波到達距離は、ご使用になる家の環境によって異なります。途中に妨害電波、金属のドア、コンクリートの壁などがある場合や、2階建ての場合は、電波が届きにくいことがあります。その場合は、原因となる妨害電波をとめるか、ダイヤルUP本体もしくはセンサーの位置を移動してご利用ください。金属アミ入りガラスや特殊金属被膜コーティングしたペアガラス(エコガラス・LOW-Eガラス)などの窓ガラスに設置した場合、電波の届く範囲が短くなる場合がありますので、別売の「外部入力マグネット」をご購入ください。

●ガラス面とサッシ面との距離が9mm以下の場合、片面の窓しか感知できない場合がありますのでご購入前に設置する窓をご確認ください。

●本機は侵入者を威嚇し、侵入の存在をお知らせするもので、盗難や事件の防止を保証するものではありません。

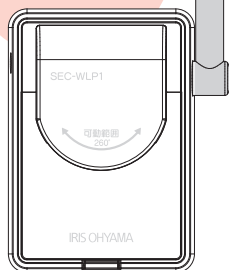
●お出かけやお休み前のご使用時には必ず動作確認をしてください。(P25、26参照)

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更される場合があります。

●本機は、電話回線に直接接続して使用することを前提としておりますので、交換機(PBX:0発信など)を介するような用途には使用しないでください。

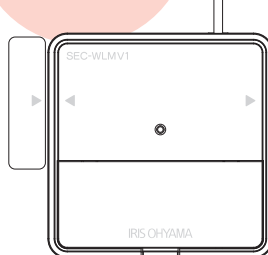
別売品

熱に反応し
侵入者を
キャッチします



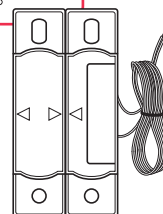
ワイヤレス人感センサー
SEC-WLP1

窓ガラスなどの
振動と開閉に
反応します



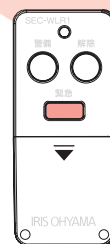
ワイヤレスマグネット
振動センサー SEC-WLMV1

エコガラス、
Low-Eガラス、
金網入りガラス、
片開き窓等に
ワイヤレスマグ
ネット振動セン
サーを設置する
場合に。



外部入力マグネット
SEC-WLOM

人数が多い
ご家庭や
オフィスに



ワイヤレスリモコンキー
SEC-WLR1

故障かな？と思ったら

ダイヤルUP本体

こんなとき

しらべるところ

なおしかた・参照ページ

動作しない

●20時間以上停電になっていませんか？

●非常用電池を交換してください。

P6

●電源ランプは点灯していますか？
・ACアダプターがコンセントからはずれていませんか？

●ACアダプターをコンセントに差し込んでください。
●ダイヤルUP本体にプラグをしっかりと差し込んでください。

P6

●ACアダプターのプラグがダイヤルUP本体から抜けていませんか？
・ACアダプターのプラグがダイヤルUP本体にしっかりと差し込んでありますか？

通報しない

●電話番号の登録をしていますか？

●登録してください。

P14

●電話番号をまちがって（使用していない番号）登録していませんか？

●正しく登録してください。

P14

●機能メニューに~~☒~~が点灯していませんか？

●「通報ON/OFF」の設定を「CALL ON」にしてください。

P15

●ご使用の電話回線がダイヤル回線ではありませんか？

●プッシュホン回線以外ではご使用になれません。契約している電話会社に確認のうえ、プッシュホン回線へ契約変更してください。

●電話回線（回線へ）側と（電話へ）側の接続が逆になっていませんか？

●正しく接続してください。

P6

●電話のコードのプラグがコネクタからはずれていませんか？

●しっかりと差し込んでください。

P6

●電話のコードが断線していませんか？

●コードを取り換えてください。

●接続している電話が使用中ではありませんか？

●接続している電話機が使用中だったり、受話器がはずれている場合は通報できません。

●交換機が入っていませんか？

●交換機など外線を「0」または「9」発信で行う場合は使用できません。

チャイム音量が
鳴らない、または
小さい

●電源ランプは点灯していますか？
・ACアダプターがコンセントからはずれていませんか？
・ACアダプターのプラグがダイヤルUP本体から抜けていませんか？

●ACアダプターをコンセントに差し込んでください。
●ダイヤルUP本体にしっかりと差し込んでください。

P6

●非常用電池の交換時期ではありませんか？

●新しい電池と交換してください。

P6

センサーの追加設定
ができない

●在宅モードや警備モードになっていませんか？

●在宅モードや警備モードを解除してください。

P19
P20

●センサーとリモコンキーの登録数がいっぱいになっていませんか？

●センサーは16個、リモコンキーは8個までしか登録できません。

P14
P15

プログラムの設定ができない

●在宅モードや警備モードになっていませんか？

●在宅モードや警備モードを解除してください。

P19
P20

警報アラームが
鳴らない

●機能メニューに~~☒~~が点灯していませんか？

●「警報アラームON/OFF」設定を「Sound ON」にしてください。

P16

●警備モードに設定されていますか？

●警備モードに設定してください。

P19

警備モードに設定すると、アラームが鳴る

●マグネット振動センサーが設置されている窓が開いているか、センサーの電池が少なくなっていないですか？

●センサーが設置してある窓を閉めてください。
●電池を新しいものと交換してください。

P20

外部からの操作ができない

●ダイヤルUP本体が動作中ではありませんか？
●外部の電話の受信状態は良いですか？

●本体の動作が終わるまでお待ちください。
●受信状態の良い所で移動して操作を再度行なってください。

P20

修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、下記の点検をしていただき、それでも不具合がある場合はご自分で修理なさらないで、ご購入の販売店またはアイリスコールまでお問い合わせください。

ワイヤレス人感センサー

こんなとき

しらべるところ

なおしかた・参照ページ

動作しない

●電池が入っていますか？

●電池を入れてください。

P7

●電池の(+) (−) を間違えていませんか？

●正しく入れてください。

P7

●電池容量が少なくなっていないですか？

●モニターランプが点滅している場合、電池を4本とも新品に入れ換えてください。

P7

●ACアダプターのプラグがダイヤルUP本体から抜けていませんか？

●ダイヤルUP本体にしっかり差し込んでください。

P6

●センサーを正しく設置していますか？

●侵入者がセンサーに対して横切るように設置してください。

P7

ダイヤルUP本体が動作しない

●機能メニューに ~~×~~ や ~~×~~ が点灯していませんか？

●アラームと通報の設定をやりなおしてください。

P16

●ダイヤルUP本体の電源は入っていますか？

●ダイヤルUP本体の電源ランプを確認してください。

P5

●ダイヤルUP本体が警報アラーム中や通報動作をしていませんか？

●ダイヤルUP本体が警報アラーム中や通報中はセンサーからの信号を受信しません。

●ダイヤルUP本体にセンサーを登録していますか？

●センサー登録してください。

P14
P15

誤動作する

●ペットなどの動物がセンサーの感知範囲に入ることがありませんか？
●エアコンの吹出し口や、ストーブなど室温を変化させる家電製品がセンサーの感知範囲にありませんか？
●日光に当たったカーテンがゆれると、センサーが感知することがあります。
●ガラス越しの犬や猫などの動物がセンサーに感知する場合があります。

●誤動作しづらい場所へ設置し直してください。

ワイヤレスマグネット振動センサー・ワイヤレスリモコンキー

こんなとき

しらべるところ

なおしかた・参照ページ

動作しない

●電池が入っていますか？

●電池を入れてください。

P5.9

●電池の(+) (−) を間違えていませんか？

●正しく入れてください。

P5.9

●電池容量が少なくなっていないですか？

●ランプが点滅している場合、電池を新品に入れ換えてください。

P5.9

ダイヤルUP本体が動作しない

●機能メニューに ~~×~~ や ~~×~~ が点灯していませんか？

●アラームと通報プログラム設定をやりなおしてください。

P16

●ダイヤルUP本体の電源は入っていますか？

●ダイヤルUP本体の電源ランプを確認してください。

P5

●ダイヤルUP本体にセンサーを登録していますか？

●センサーを登録してください。

P14
P15

●ダイヤルUP本体が警報アラーム中や通報動作をしていませんか？

●ダイヤルUP本体が警報アラーム中や通報中はセンサーからの信号を受信しません。

●金属アミ入りガラスや特殊な省エネガラスに設置していませんか？

●電波の届く範囲が短くなる場合がありますので、別売の「外部入力マグネット」をご購入ください。

P28

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

お問い合わせはお気軽にアイリスコールに
アイリスコール 受付時間 9:00～17:00

0120-211-299

MADE IN CHINA

P211207-008-THH